

## 佐久市健康長寿産業振興ビジョン（案）に対する意見募集の実施結果

### 1 意見募集の概要

#### (1) 意見募集期間

平成29年2月3日（金）から2月20日（月）までの18日間

#### (2) 案の公表方法

ア 佐久市ホームページへの掲載

イ 佐久市役所本庁市民ホール、商工振興課窓口、各支所経済建設係窓口に閲覧用として設置

#### (3) 意見募集方法

ア 郵送

イ 電子メール

ウ ファックス

エ 直接持参（佐久市役所本庁商工振興課）

### 2 意見募集の結果

(1) 提出された意見 4名10件

(2) 提出された意見の概要とそれに対する市の考え方 別紙のとおり

佐久市健康長寿産業振興ビジョン（案）に対して提出された意見の概要とそれに対する市の考え方

No.	意見要旨	市の考え方
1	<p>全体のビジョン構想の概念は良く出来ているが、具体的な個々の施策のタイムライン（マイルストーンも含めて）とKPIが示されないと絵に描いた餅となるのではないかと懸念されている。</p>	<p>ご指摘のとおり、ビジョンは絵に描いた餅になっては策定する意味がありません。ビジョンに位置付けた施策は、現在の社会経済情勢や産業を取り巻く諸状況、既に実施している施策等を踏まえ、佐久市の産業振興に資すると思われる施策を網羅的にお示ししています。従いまして、ビジョンにおきまして、個々の施策のタイムライン等を具体的に明示することは困難ですが、今後、ビジョンの実現に向けて、ビジョンの策定過程にて議論を重ねていただいた佐久市健康長寿産業振興推進協議会推進委員会を中心に、必要に応じ様々な分野の方にも参加していただき、ビジョンに位置付けた施策の優先順位等も考慮しながら、具体的な実施方法や時期、実施主体などを検討し、施策を実行に移してまいりたいと考えております。</p>
2	<p>ビジョン達成に向けて、佐久市として予算化・補助金の金額が明示されなければ企業側での予算化などの具体的な計画が立案できない。ぜひ、具体的な金額提示をお願いしたい。補足として、産業支援機関の運営の財政基盤が安定していることが前提であると思っておりますので、その点を明確にさせていただきたい。</p> <p>また、産業の創出が一般市民の健康長寿とどう繋がるかも明確にさせていただきたい。</p>	<p>ビジョンは、佐久市の産業振興に関しまして、その方向性をお示しする構想的なものであります。今後、ビジョンに位置付けた施策の優先順位等を考慮しながら、佐久市企業のニーズなども踏まえ、施策展開のシナリオを描き、現行の補助制度等に加え、具体的な施策について検討する中で、実施プランを作り必要となる予算等につきましても確保してまいりたいと考えております。</p> <p>現時点で、数年先の市の予算額や補助金額をビジョンに明示することは、不確定要素が多いため、困難であることをご理解いただきたいと思います。</p> <p>産業支援機関につきましては、平成30年度の設定を目指し、商工団体など関係機関と協議し、体制や機能等を具体化する予定でありますので、安定した運営が可能となるよう合わせて検討してまいります。</p> <p>佐久市では、地方創生の取り組みの一つとして、「健康長寿」をキーワードに各種施策を展開しております。ビジョンでは、ヘルスケア関連産業の育成や保健・医療・福祉分野とものづくり産業の連携による新製品の開発など産業振興の方向性等を示しています。今後、市関係部署をはじめ、関係機関と連携を図りながら具体的な施策展開をすることで、市民の健康長寿に寄与するよう取り組んでまいりたいと考えています。</p>

3	<p>人口減少の対策としての佐久地域の若者に地元での就職を促進することは非常に重要であり、インターンシップの導入は大きな効果をもたらすと思う。</p> <p>しかし、この制度にかかる費用を企業側に全面負担させることは難しいため、ぜひ補助金の助成を考慮してもらいたい。</p>	<p>若者の地元就職の促進につきましては、市としても重要な施策であると認識しております。そこで、市ではインターンシップの促進を目的に、平成22年4月から「佐久市インターンシップ事業」を実施しております。</p> <p>この事業は、実習生の受け入れ企業には、受け入れた実習生1名につき1万5千円、実習生には、交通費1万円限度、宿泊費1泊あたり5千円の5泊を限度に補助するものであります。</p> <p>今後ともこの事業がより多く活用されるよう、一層のPRに努めてまいります。</p>
4	<p>73 ページ_管理指標について</p> <p>製品出荷額等の目標値 2,000 億円／年（H33 年）・・・H26 年比 2.5%増、製造業の従業員数の目標値 8,750 人（H33 年）・・・H26 年比 6.0%増となっていますが、H26 年比の伸び率を見ると、製品出荷額よりも従業員数の伸び率を高め目標に設定しているのは、どのような根拠に基づくものでしょうか？</p> <p>基本的に製造業は、利益確保を目標に生産性向上を行っていますので、製品出荷額よりも従業員数の伸び率が高いことに違和感を感じます。</p> <p>基本施策や具体的施策を見ても、管理指標とした数字の根拠が記載されていないように思います。</p> <p>数字が一人歩きして、具体的な行動が伴わなくなる可能性がありますので、管理指標の根拠を明確にした方が良く考えます。</p>	<p>製造品出荷額等の目標値、及び、製造業の従業員数の目標値等につきましては、過去数年間の伸び率に、平成27年度以降操業開始となる主な製造業の計画値を加味し、さらに、ビジョンに基づく施策等を実施した期待値等を勘案し設定しております。</p> <p>また、佐久市では、製造業等の設備投資等に対する支援を行っておりますが、補助要件として市内居住者の雇用増を条件とし、政策的に雇用者の増加を誘導しております。</p> <p>佐久市といたしましては、今後も市民の働く場を確保する施策を進めるとともに、企業の高付加価値製品を生み出す開発力強化の促進など、ビジョンに位置付けた施策を実施する中で、目標値の実現を目指してまいりたいと考えております。</p>

5	<p>54 ページ 具体的施策 ①産業支援機関の設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「産業支援機関は、自立した運営体制の構築を目指す」とのことですが、佐久市はどのような関わりを持つことになるのでしょうか？</li> </ul> <p>やはり、運営資金については、市に主導していただくのが良いように思いますので資金面での市の関わりを明記した方が良いと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「産業支援機関」の設立は、どのようなタイムスケジュールで行われるのでしょうか？いつまでに、どのような規模で設立を推進するのかが不明です</li> </ul>	<p>産業支援機関は、平成 30 年度の設立を目指しており、今後、商工団体など関係機関との検討を重ねる中で、運営資金、運営体制、機能等について、佐久市の関わり方も含め具体化してまいりたいと考えております。</p> <p>地方創生の趣旨からも、将来的には民間による運営がなされることを目指し、今後の検討の中で、市としての役割を位置付けてまいりたいと考えております。</p>
6	<p>58 ページ 具体的施策 ②新製品・新技術の開発力の強化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「本市企業の独自技術を用いた商品開発を促進」となっていますが、開発推進のために、市としての助成金は、どのようになっていますか？</li> </ul> <p>支援策の一環として、開発推進のための助成金について明記した方が良いのではないのでしょうか。</p>	<p>現在、企業間連携による新製品及び新技術の共同開発に取り組む中小企業への支援としては、500 万円を限度に補助を行う「ものづくり支援事業」を現在実施しています。</p> <p>ビジョンにつきましては、今後の佐久市の産業振興に関しましてその方向性を示しております。ビジョンに位置付けた施策の優先順位等も考慮しながら、佐久市の企業ニーズ等を把握する中で、時代の変化に対応した新たな支援策の検討や現行の支援策の見直しを行ってまいりたいと考えております。</p>
7	<p>67 ページ 具体的施策 ①製品・商品・サービスの海外展開について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記 3 項と同様に、支援策としての助成金について言及していただいた方が良いように思います。</li> </ul>	<p>現在、中小企業が新市場の開拓又は販路拡大を目的に、海外展示会への出展に要する経費に対し、45 万円を限度に補助を行う「販路拡大支援事業」を実施しています。</p> <p>ビジョンにつきましては、今後の佐久市の産業振興に関しましてその方向性を示しております。ビジョンに位置付けた施策の優先順位等も考慮しながら、佐久市の企業ニーズ等を把握する中で、時代の変化に対応した新たな支援策の検討や現行の支援策の見直しを行ってまいりたいと考えております。</p>

8

第2章の各種統計を用いた分析は佐久市の現状、長野県内の位置づけを大まかに理解する上で役立ちます。特に、21ページ以降の経済産業省「工業統計調査」データを用いた産業分類毎のグラフは佐久市製造業の概況を良く表しており、①食料品、②電子部品・デバイス・電子回路、③生産用機械、④輸送用機械、⑤電気機械の5分野で全出荷額の70%近くを占め、この5分野で成り立っているのが分かります。

尚、産業分類の用語が不用意に短縮されており、統計の専門家でない人にとって間違いやすくなっています。

例 「食料」は（誤）一次産品を指すのか、（正）加工品を指すのか。「輸送」は（正）自動車やその部品を指すのか、（誤）宅配・引越サービスを指すのか。

したがって、①～⑤の分野を念頭に、(A)「健康長寿という特徴を生かしたものづくりの産業振興策」、(B)

「ヘルスケア関連産業の海外展開」、(C)「産業振興を担う支援機関の設置やその役割と機能」を検討することになりますが、以上のデータでは具体的な検討を進めることは出来ません。これを補うものとして、36ページ以降に幾つかグラフ化されている佐久市事業所へのアンケート調査をさらに詳細かつ徹底的に活用すべきと思います。21ページ図表17から佐久市の事業所数は261、アンケートの有効回答数は206のため、信憑性の高い結果が引き出せます。81ページ以降にアンケート調査票の原本が参考資料として掲載されていますが、質問項目が極めて詳細に設定されており、

ご指摘いただきました「食料」「輸送」等の業種の表記については、読んだ方が正確にご理解いただけるよう、ビジョンの22ページに業種と略記の一覧表を掲載いたします。

また、アンケート調査結果につきましては、企業の現状を把握するための大変貴重な意見ですので、今後具体的な施策等を検討する資料として活用してまいります。

さらなるアンケート分析の際には、いただいたご意見も参考とさせていただきます。

8	<p>アンケート結果を色々な観点から分析することによって(A), (B), (C)の検討を深めることができますと思います。</p>	
9	<p>52 ページ以降の実施施策について、具体的施策として掲げられている項目は、全体を網羅的にカバーしていますが、施策の個別の説明は具体性の無い一般論になっており、結局、(A), (B), (C)に向けてどうしようとしているのか、読み取れません。</p> <p>一例として、 「農産物+食品加工+食品販売+飲食店」のような「食」の6次産業化、さらにそれをベースにした観光産業の方向を目指すのか、「電気・電子・機械」をベースに「医療・介護」とのシナジーを追求する「医工連携」を目指すのか、産業支援機関はどの程度の規模（人員数・予算）とするのか、35 ページにある既存の支援機関と同様の機能を持たせるのか違う姿を目指すのか、得意・不得意を見極めて連携するのか、その場合の役割分担は等々</p>	<p>ビジョンは、今後の市の産業振興の方向性を示すものであり、現在の社会経済情勢や産業を取り巻く諸状況に加え、既の実施している施策等を踏まえ、市の産業振興に資すると思われる施策を網羅してお示ししています。</p> <p>今後、ビジョンの実現に向け、策定過程において内容等を議論いただいた佐久市健康長寿産業振興推進協議会推進委員会を中心に、必要に応じ様々な分野の方にも参加していただき、ビジョンに位置付けた施策の優先順位等も考慮しながら、具体的な実施方法や時期、実施主体などを検討し、施策を実行に移してまいりたいと考えております。</p> <p>産業支援機関につきましては、平成30年度の設立を目指し、商工団体など関係機関と検討を重ねる中で、体制や機能等を具体化してまいります。過大な組織とならないように、他の産業支援機関との連携や役割分担につきましても、この中で十分に検討してまいりたいと考えております。</p> <p>いただいたご意見は、検討の参考とさせていただきます。</p>
10	<p>お金が地域外へ流出し、地域が衰退する原因の一つとして、エネルギー費用が占める割合は無視できない大きさです。基本戦略の3か4になるかと思いますが、太陽光パネルの設置を地域外の会社がやって終わりにせず、再生可能エネルギーの設置、管理、運用を地域で出来たら産業の柱にもなりうると思いますので、方針に盛り込んではいかがでしょうか。</p>	<p>ご意見いただきました再生可能エネルギーについては、「環境エネルギー重点プラン」を策定し、太陽光パネルやペレットストーブの導入促進など、再生可能エネルギーの普及に取り組んでおります。</p> <p>産業振興ビジョンにおきましては、事業所の省エネルギー化の促進に重点を置いた施策としておりますが、ご提案のエネルギーの地域内循環につきましては、ご意見として今後のエネルギー施策の中で検討してまいります。</p>